

平成 23 年 度
相 生 市 行 政 評 価
第 三 者 評 価 報 告 書

平成 2 3 年 9 月

相生市行政評価第三者評価委員会

目 次

1	目的	1
2	委員構成	1
3	委員会開催状況	1
4	評価対象	2
5	評価視点	3
6	評価結果に対する総括	4
7	評価結果に対する委員意見	5
8	評価対象施策 結果比較	8
9	評価ヒアリング個別シート	13

1 目的

行政評価をより一層、客観性及び信頼性を高めるため、外部委員による専門的な観点からの意見及びサービスの受け手としての市民からの意見等を、提言することを目的として第三者評価を実施いたしました。

2 委員構成

	氏 名	摘 要	住 所
委員長	横山 直子	姫路獨協大学経済情報学部 教授	神戸市
副委員長	福永 武郎	公認会計士・税理士	姫路市
委 員	原 英機	生活協同組合コープこうべ 顧問 前農業生産法人みずほ協同農園 代表取締役社長 相生市第5次総合計画市民会議委員	相生市
委 員	佐々木 佐和子	特定非営利活動法人 相生いきいきネット理事 相生市第5次総合計画市民会議委員	相生市
委 員	湊 邦弘	湊水産株式会社 会長	相生市
委 員	長谷川 眞喜代	相生市消費生活相談員	相生市

3 委員会開催状況

開 催 日	会 議 名 等	主 な 内 容
平成23年8月23日(火) 11:00~17:00	平成23年度第1回 相生市行政評価第三者評価委員会	・行政評価ヒアリング (4事務事業)
平成23年8月26日(金) 9:00~13:00	平成23年度第2回 相生市行政評価第三者評価委員会	・行政評価ヒアリング (4事務事業)
平成23年8月30日(火) 9:00~13:00	平成23年度第3回 相生市行政評価第三者評価委員会	・行政評価ヒアリング (4事務事業)

4 評価対象

平成23年度においては、今年度より第5次総合計画がスタートしているため、従来どおりの施策を対象とした場合には、前総合計画の施策を評価することとなり、不適當であるため、今年度は事務事業を対象とし、市の裁量による任意の事務事業、事業開始から一定期間が経過した事業、ふるさと応援寄附事業などから第三者評価委員会委員長及び事務局で選定しました12事務事業を第三者評価の対象としました。

平成23年度第三者評価対象事業

事務事業名	部課(室)名
ふるさと応援事業	企画管理部企画財政課
私立幼稚園補助事業	企画管理部総務課
ホームページ整備事業	
鍼灸・マッサージ施療費助成事業	市民環境部市民課
地方バス路線維持補助事業	市民環境部まちづくり推進室
のびのび健康教室事業	健康福祉部健康介護課
子育て学習活動推進事業	健康福祉部子育て支援室
まちの駅推進事業	建設経済部産業振興課
中学生ペーロン推進事業	
小学校外国人英語指導助手招致事業	教育委員会学校教育課
中学校外国人英語指導助手招致事業	
青少年育成事業	教育委員会生涯学習課

5 評価視点

下記の具体的視点により評価を行いました。

【事務事業評価シートの視点】

(1) 評価指標の視点

- ・評価指標の設定は妥当か、関連性があるか。
- ・指標設定が困難な場合は、現状において最適なものを代替指標としているか。

(2) 妥当性の視点

- ・市が実施する目的は明確か、国・県や民間等との役割分担の観点から当該事務事業を市が行う妥当性・必要性はあるか。
- ・市民ニーズは、高いか。

(3) 有効性の視点

- ・評価指標の数値は計画値を達成しているか。
- ・計画、目標設定が高すぎないか、あるいは低すぎないか。
- ・成果を向上させる努力をしているか、向上させる方法はあるか。
- ・市民サービス向上の改革改善効果が見られるか。

(4) 効率性の視点

- ・コストを削減する努力をしているか、削減する余地はあるか。
- ・受益者負担の設定は可能か、見直しする余地はあるか。
- ・委託や指定管理者制度の導入、補助事業化など、サービスを下げずに、よりコストの低い手段へ事業形式を変更できる可能性はあるか。
- ・当該事務事業が個別目標、施策実現のための手段として最適か。

(5) 総合、方向性の視点

- ・過去の行政評価結果が生かされて、PDCAサイクルが機能しているか。
- ・課題、懸案事項に対する今後の展開方針は妥当か。
- ・今後に向けての成果向上や経費削減など、具体的方策は妥当か。

6 評価結果に対する総括

本委員会（行政評価第三者評価委員会）において、平成 23 年度は、12 事務事業についてヒアリングを実施し第三者評価を行った。今回の 12 事務事業に関するヒアリングに関して第一に言えることは、積極的な姿勢で取り組まれているという点と改善に向けての工夫が行われてきているという点であり、この点について高く評価できる。今回の 12 事務事業に関するヒアリング実施を通して、行政サービスについて住民の期待が大きく、さらに可能性が広がっているものが多いという印象を受けた。これはまさに、行政サービス供給に関する改善の方法や工夫によってさらなる大きな効果が期待されるということでもある。今回の 12 事務事業に関するヒアリング実施の中から、注目すべき点、さらに改善すべきであると考えていくつかの点を以下に述べる。

第一に、それぞれの「指標」について、大きさ、数値を明確に示すことが重要であるとともに、指標の値を「分析」する必要があるという点である。数値で表されている各指標からどのように解釈することができるのかを緻密に分析することで大きな効果が導かれることになる。つまり、指標の値の大きさの解釈をどれだけ厳密に行うことができるかによって、指標が有する真の意義も大きくなるのである。

第二に、各事業の「相乗効果」を積極的に期待すべきであるという点である。これは行政サービスの供給について、全体として、住民の満足度が上昇し、高い効果を生み、より高い目標を達成することができるように、視野を広げながら常に幅広い視点でみるということが重要であるということである。このことは各事業の位置づけ、意義をいかに正確に見極めるかということにも関連している。

第三に、指標の総合的な大きさの把握の重要性に関する点である。有効性、効率性、妥当性という視点は、それぞれ重要であるが、「第三者評価」実施に際して、全体としての指標の大きさ、つまり指標の総合的な大きさの把握が重要である。この点に関して、第三者評価実施に際しての判断基準として指標のもつ意義はかなり大きいのであり、有効性、効率性、妥当性それぞれの指標がより客観的なものである必要があるとともに、その上で、さらに総合的な視点からみた指標の大きさを把握することが重要である。

相生市行政評価第三者評価委員会
委員長 横山 直子

7 評価結果に対する委員意見

平成 23 年度の第三者評価の対象は 12 事務事業で、前年度の 15 施策（71 事務事業）より大幅に縮小された。理由は 2 ページの「4 評価対象」のところで説明がなされている。委員会の所要時間も前年度の 6 割程度であり、3 日間もかけず 2 日間でできたぐらいである。

今回対象となった 12 事務事業に対して要した費用は総額で 4,913 万円、平均で 1 事務事業あたり 409 万円である、300 万円以下のものが 7 件もある。「小学校外国人英語指導助手招致事業」や「中学校外国人英語指導助手招致事業」のように学習指導要領によって定められ裁量の余地の少ないものも含まれている。あとは補助金や負担金として支出されるもので慣例化しているものも数件ある。「地方バス路線維持補助事業」はこの中では費用総額が 1,101 万円と最大であり事業の継続については市民のコンセンサスを得る必要がある。

相生市としては、人口減対策や産業の活性化など種々の問題を抱えている。また、将来において、ごみ焼却炉の設備更新や上下水道の補修など超多額の費用が必要となることが予想される事案も少なくない。「行政評価は、行政活動を有効性、効率性、必要性、公平性などの面から客観的に評価し、その評価結果を行政運営に反映させるものである。」したがって、行政評価の成果をさらに意義あるものとするためには、評価対象の選定に当たっては金額の重要性も考慮するとともに、もっと重要な問題点に結び付く可能性のあるテーマを対象とすべきではないでしょうか。

副委員長 福永 武郎

今年度より総合計画が新しくスタートする関係で、今回は評価対象が施策ではなく、事務事業ということで 12 の事務事業を評価した。そのため事務事業ひとつひとつじっくり考える事ができた。

評価指標については、事業の目的にどのくらい達しているのかが分かるように、もう少し指標の選択、目標値の設定などを工夫してはどうかと思う。

また、考え出された「課題として認識された点」「事業の改善点」について、よりよい事業となるようにぜひ実行していただきたい。その際には、利用する市民側のニーズを調査し、参考にすることを希望する。

委員 佐々木 佐和子

平成 23 年度の第三者評価の対象は、これまでの施策評価は行わず、12 事務事業のみの評価であった。今回の全体的な事業概要や投入資源の実績を考えると、少し物足りなさを感じた。

事業目的では、市民ニーズに身近なものが比較的多くあったが、一部の市民に偏って利用されている事業も数件あったように思うので、市民が公平にすすんで参加できるように PR 方法を検討する必要がある。

事業実施では、自己満足していると市民感情との乖離が生じるので、常に市民の中に飛び込み市民の想いや願いを汲取っていただきたい。

多くの市民が利用すれば一人当たりの経費は減少し、生産性が向上して効率性も良くなる。この費用対効果の測定には、地道な実績数値の積み重ねが重要になる。過去の経験や実績を生かさないと改革や改善に結びつかない。

私の若い頃からの持論で恐縮ですが、どんなことでも絶えず問題意識を持ち、現状のままでいいのか、他にもっと良い方法はないのかと思考錯誤しながら、小さな事業でも方向修正や改善をしてきた。

前に進むには、勇気と決断力が必要になる。少子高齢社会になった今、行政がサポートを担う役割は日毎に増している。職員の皆様には、日頃から市民の目線に合った希望の持てる相生市を目指して、早急に改革・改善に向けた取組みを市民は期待している。

委員 原 英機

- 1 今後、少なくとも数年間は、収入は減りこそすれ、増える事は考えにくい。
- 2 市民会館大ホールを始め、以後 10 年間に、複数の大事業、それに伴う支出が見えている。
- 3 そうすると、1つ1つの事業の評価も大切なことですが、それ以上に、事業そのものの選択の方が大切になってくると思われる。現在、行われている事業は、それなりに妥当性、有効性があるものばかりとは思いますが、優先順位によってはカットせざるをえなくなってくる。
- 4 受益者負担と云う考え方もあるが、出来るだけ次世代に付けを回さないように、その為には、丁度始まった第 5 次総合計画に基づいた事業同士、横にも関連性が通っているメリハリのついた事業を行って欲しい。
意識改革なくして、それは実行出来ない。

委員 湊 邦弘

今年度は12事務事業を対象に第三者評価を行った。市が自主的に実施するサービスで事業開始から一定期間が経過した事業にもかかわらず、事業の目的がはっきりせず、客観的に評価することのできる指標がない事業が多かった。また、職員のコストに対する意識が低いように思われた。改善すべき点や今後の課題について次のように考える。

まず、市民のニーズを確実に捉え、そのニーズに応えられるように事業の目的を明確にすべきである。そして、その事業を行うことによって得られた効果や市民の満足度を測って、客観的に評価できる指標で表わすべきである。さらに改善すべき点を検討して対策を講じることが大切である。

事業を実施するにあたっては、どのようにすればコストをより削減することができるかを工夫しなければならない。業者に委託する場合でも、業者を選定する基準をより明確にすべきである。また、補助金・負担金交付の形態で実施する事業については、他の事業とのバランスや社会情勢に応じて常に見直すべきである。

今後は、事業を計画する時に地域の住民の力を活用することや受益者負担について、検討することが必要だと考える。

委員 長谷川 眞喜代

8 評価対象事務事業 結果比較

【評価結果比較】

方向性	担当課	行革推進委員会	第三者評価委員会
拡大	—	—	4
継続	12	10	8
縮小	—	—	—
統合	—	2	—
廃止	—	—	—
合計	12	12	12

【判定評価基準】

区分	妥当性	有効性	効率性
5 極めて高い	上位の事務事業や施策の成果向上に不可欠な事業であり、妥当性を見直す余地がない。	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値は、到達目標に近い、高いレベルのもので、しかも達成できた。 ・実績値が前年度と比較して大きな伸びが見られた。 ・その他の観点において改革改善効果が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・極めて大きなコスト節減効果が見られた。 ・その他の観点において改革改善効果が見られた。
4 高い	上位の事務事業や施策の成果向上に必要な事業であり、妥当性を見直す余地が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値の達成ができた ・実績値が前年度と比較して伸びた。 ・その他の観点において改革改善効果が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コスト節減効果が見られた。 ・その他の観点において改革改善効果が見られた。
3 変化なし	現時点では実施の必要性等妥当性に変化はない。	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値の達成はできなかったが、実績値は前年並みを維持できた。 ・目標値の達成ができ、実績値も前年並みを維持できた。 ・その他の観点における変化は特に見られなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コストは前年度と変化がなかった。 ・その他の観点における変化は特に見られなかった。
2 低い	事業の目的の変化や実施の必要性が低下しており、将来的に廃止・統合に向けた検討が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値の達成はできなかった。 ・実績値が前年度と比較して低下した。 ・その他の観点において低下した事項があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コストは増加した。 ・その他の観点において低下した事項があった。
1 かなり低い	事業の廃止・統合に向けた見直しが必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値をかなり下回った。 ・実績値が前年度と比較してかなり低下した。 ・その他の観点においてかなり低下した事項があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コストは大幅に増加した。 ・その他の観点においてかなり低下した事項があった。

事務事業名：ふるさと応援事業 担当部課：企画管理部企画財政課

平成 21 年度 平成 22 年度 平成 23 年度
 投入資源における事業費 59 千円 60 千円 342 千円

評価項目	担 当 課	行革推進委員会	第三者評価委員会
妥当性	4	3	4
有効性	3	3	3
効率性	4	3	3
方向性	継続	継続	継続

事務事業名：私立幼稚園補助事業 担当部課：企画管理部総務課

平成 21 年度 平成 22 年度 平成 23 年度
 投入資源における事業費 920 千円 901 千円 1,100 千円

評価項目	担 当 課	行革推進委員会	第三者評価委員会
妥当性	4	4	3
有効性	4	4	3
効率性	4	4	3
方向性	継続	継続	継続

事務事業名：ホームページ整備事業 担当部課：企画管理部総務課

平成 21 年度 平成 22 年度 平成 23 年度
 投入資源における事業費 54 千円 54 千円 54 千円

評価項目	担 当 課	行革推進委員会	第三者評価委員会
妥当性	4	4	4
有効性	4	4	3
効率性	3	3	4
方向性	継続	継続	拡大

事務事業名：鍼灸・マッサージ施療費助成事業 担当部課：市民環境部市民課

平成 21 年度 平成 22 年度 平成 23 年度
 投入資源における事業費 3,091 千円 3,228 千円 3,746 千円

評価項目	担 当 課	行革推進委員会	第三者評価委員会
妥当性	4	4	4
有効性	4	3	3
効率性	4	4	3
方向性	継続	継続	継続

事務事業名：地方バス路線維持補助事業 担当部課：市民環境部まちづくり推進室

平成 21 年度 平成 22 年度 平成 23 年度
 投入資源における事業費 11,078 千円 9,893 千円 9,893 千円

評価項目	担 当 課	行革推進委員会	第三者評価委員会
妥当性	4	4	4
有効性	4	3	3
効率性	4	3	3
方向性	継続	継続	継続

事務事業名：のびのび健康教室事業 担当部課：健康福祉部健康介護課

平成 21 年度 平成 22 年度 平成 23 年度
 投入資源における事業費 867 千円 876 千円 1,100 千円

評価項目	担 当 課	行革推進委員会	第三者評価委員会
妥当性	4	4	4
有効性	4	3	3
効率性	3	3	3
方向性	継続	継続	拡大

事務事業名：子育て学習活動推進事業 担当部課：健康福祉部子育て支援室

平成 21 年度 平成 22 年度 平成 23 年度
 投入資源における事業費 2,280 千円 2,271 千円 2,634 千円

評価項目	担 当 課	行革推進委員会	第三者評価委員会
妥当性	5	5	4
有効性	4	4	4
効率性	3	4	3
方向性	継続	継続	拡大

事務事業名：まちの駅推進事業 担当部課：建設経済部産業振興課

平成 21 年度 平成 22 年度 平成 23 年度
 投入資源における事業費 300 千円 300 千円 300 千円

評価項目	担 当 課	行革推進委員会	第三者評価委員会
妥当性	3	3	3
有効性	3	3	3
効率性	3	3	3
方向性	継続	統合	継続

事務事業名：中学生ペーロン推進事業 担当部課：建設経済部産業振興課

平成 21 年度 平成 22 年度 平成 23 年度
 投入資源における事業費 500 千円 500 千円 600 千円

評価項目	担 当 課	行革推進委員会	第三者評価委員会
妥当性	5	4	4
有効性	5	3	3
効率性	3	3	3
方向性	継続	統合	拡大

事務事業名：小学校外国人英語指導助手招致事業 担当部課：教育委員会学校教育課

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
投入資源における事業費	4,889 千円	4,889 千円	4,889 千円
評価項目	担 当 課	行革推進委員会	第三者評価委員会
妥当性	4	4	4
有効性	4	3	3
効率性	4	3	3
方向性	継続	継続	継続

事務事業名：中学校外国人英語指導助手招致事業 担当部課：教育委員会学校教育課

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
投入資源における事業費	5,715 千円	4,854 千円	5,844 千円
評価項目	担 当 課	行革推進委員会	第三者評価委員会
妥当性	4	4	4
有効性	4	3	4
効率性	4	3	4
方向性	継続	継続	継続

事務事業名：青少年育成事業 担当部課：教育委員会生涯学習課

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
投入資源における事業費	1,263 千円	1,263 千円	1,622 千円
評価項目	担 当 課	行革推進委員会	第三者評価委員会
妥当性	5	5	4
有効性	4	4	3
効率性	4	4	3
方向性	継続	継続	継続

9 評価ヒアリング個別シート

事務事業評価シート

事務事業名	ふるさと応援事業		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止		
評価指標	【評価理由】 指標設定においては、有効性及び効率性が測れるものとする工夫が必要である。 目標をより高く設定したほうがよい。		
妥当性	【評価理由】 寄附をどのように使うのかについては、更なる細かな検討が必要である。 ふるさとを想う人にとって、気持ちを形としてあらわすことができ妥当である。	第三者評価委員会	
		5段階評価	
		4	
有効性	【評価理由】 ふるさと応援寄附を財源とする事業内容の向上及び寄附者の意見の具現化が重要である。 寄附者の意向に沿った事業が行われているのか、事業の効果は大きいのかなどの検討が必要である。	第三者評価委員会	
		5段階評価	
		3	
効率性	【評価理由】 効率性の指標についても、より適切な指標の設定が必要である。 ふるさと納税の趣旨を理解してもらうようにPRを図る必要がある。	第三者評価委員会	
		5段階評価	
		3	
今後	【評価理由】 期待は大きく、可能性も広がるのでそれに応えるべきである。 寄附者に事業報告を行う際にアンケートを実施するなど意向調査を行うべきである。		
その他	特産品の贈呈については、寄附者が授受の選択ができるなどあり方を再考すべきである。		

事務事業評価シート

事務事業名	私立幼稚園補助事業		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止		
評価指標	【評価理由】 指標設定においては、効率性が測れるものとする工夫が必要である。		
妥当性	【評価理由】 兵庫県からの補助金も大きいので、市としてどこまで関わる必要があるのか検討すべきである。	第三者評価委員会	5段階評価 3
有効性	【評価理由】 補助によりどのくらい市民満足度の上昇につながっているのかを明確にし、有効性を測るほうがよい。 保護者及び子どもの幼稚園の選択肢を増やすということに対しては、効果的にはたらいっている。	第三者評価委員会	5段階評価 3
効率性	【評価理由】 補助額の妥当性については、検討すべき点がある。	第三者評価委員会	5段階評価 3
今後	【評価理由】 私立幼稚園の健全経営のためにどのくらい役立っているのか、市民満足度上昇につながっているのかを常に検討すべきである。		
その他			

事務事業評価シート

事務事業名	ホームページ整備事業		
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止		
評価指標	【評価理由】 指標設定においては、有効性及び効率性が測れるものとする工夫が必要であり、「アクセス数」だけでなく、「利用者の満足度」など客観的な指標とする検討をいただきたい。		
妥当性	【評価理由】 市民ニーズが高く、期待も大きいといえる。	第三者評価委員会	5段階評価
			4
有効性	【評価理由】 改善すべき点についても把握されているので、今後の期待は大きい。 現在のホームページは、事務的な内容が多く相生の情報が分かりにくい面があるので充実を期待する。	第三者評価委員会	5段階評価
			3
効率性	【評価理由】 コスト低下についても努力されている。 ホームページは安価で効果のある方法であり、効率的に情報がわかるよい手段である	第三者評価委員会	5段階評価
			4
今後	【評価理由】 紙ベースのパンフレットなどとの関係も検討され、市民ニーズ、期待に大きくこたえられるように実施されることを期待する。また、改善すべきと考えている点をよりよくされることを期待する。 リニューアル時には、ホームページへの企業広告を増やすことを検討すべきである。 相生の独自性(特長)が表現できるように工夫いただきたい。		
その他			

事務事業評価シート

事務事業名	鍼灸・マッサージ施療費助成事業		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止		
評価指標	【評価理由】 指標設定においては、有効性及び効率性が測れるものとする工夫が必要である。		
妥当性	【評価理由】 市民ニーズが高い事業であると評価するが、どのように効果につながっているかの検証をいただきたい。	第三者評価委員会	5段階評価 4
有効性	【評価理由】 申請者が多ければいいというものでもないが、対象者の6%の方のみの利用となっているのは、周知されていないということもあるので、PR方法を工夫する必要がある。 助成回数を減らし、1回の助成額を増やすなどの助成回数、助成額の妥当性を検証し、目的により有効に働くようにすすめていただきたい。	第三者評価委員会	5段階評価 3
効率性	【評価理由】 全額助成ではなく、受益者負担がある部分については評価できる。しかし、さらにコストを下げる可能性もあるはずである。 助成金額及び回数の妥当性を常に検討していただきたい。	第三者評価委員会	5段階評価 3
今後	【評価理由】 健康増進、健康維持にどの程度役立っているかを把握する方法の検討をおこなっていただきたい。		
その他	治療所は、健康保険が適用できない前提となっているが、健康保険が適用できる場合があると考えられるので、調査のうえ助成額の妥当性を検討いただきたい。		

事務事業評価シート

事務事業名	地方バス路線維持補助事業		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止		
評価指標	【評価理由】 指標設定においては、有効性が測れるものとする工夫が必要である。		
妥当性	【評価理由】 市民ニーズが低下しているのではないか、利用者要望を十分に調査すべきである。 市民ニーズがあっても費用に問題があるといえる。	第三者評価委員会	5段階評価
		4	
有効性	【評価理由】 JRとの連携等も含めて、利用者に有効になるようなダイヤ・コースなどの見直しを継続的にはたらきかける必要がある。	第三者評価委員会	5段階評価
		3	
効率性	【評価理由】 コスト削減のために、どのような方策があるか多面的に考えることができるはずなので、検討いただきたい。 公共交通については、市民意識が重要となるので、利用意識を高める工夫も必要である。	第三者評価委員会	5段階評価
		3	
今後	【評価理由】 費用対効果を厳密に検討すべきである。 どうすれば、市民ニーズにあったサービスができ、また、コストを抑えることができるかを検討すべきである。		
その他	バス路線が廃止になってしまうと買い物、病院に行けないといった高齢者のかたが増加するため にコミバス等も併せて検討が必要である。		

事務事業評価シート

事務事業名	のびのび健康教室事業		
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止		
評価指標	【評価理由】 「病気の予防につながっている」「家で運動するようになった」「健康になった」などというアンケート結果を指標とする検討をいただきたい。 また、動機づけとなった運動をどの程度おこなっているかといった指標を検討いただきたい。		
妥当性	【評価理由】 募集に対する応募の状況からも市民ニーズが高く必要性はあると思えるが、サービスとしては提供場所に関する工夫が必要である。 高齢者が元気に暮らすという目的のためには、妥当な事業であり、こういった事業が拡大することを期待する。	第三者評価委員会	5段階評価
		4	
有効性	【評価理由】 実参加者の把握ができていますので、その数字を伸ばすため、なるべく多くの人が参加できるような工夫が必要である。	第三者評価委員会	5段階評価
		3	
効率性	【評価理由】 簡単なトレーニングをすることにより、もっと様々な場所で効率的に教室を数多く開催することができ、目的達成に効果があると思われる。 受益者負担の観点を考えて、例えばリピーターには少額を負担いただくなどの可能性はあるのではないかと。	第三者評価委員会	5段階評価
		3	
今後	【評価理由】 より多くの人が参加できるように実施場所を増やすなど、拡大して取り組んでいただきたい。 多くの人が集まる場所に出向いたり、気軽に利用できる公民館などを利用して実施してはどうか。 また、ストレッチや体操のDVDやパンフレットを作成し、自宅で継続してトレーニングができる環境をつくることを期待する。		
その他			

事務事業評価シート

事務事業名	子育て学習活動推進事業		
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止		
評価指標	【評価理由】 指標設定においては、有効性及び効率性が測れるものとする工夫が必要であり、「利用者の満足度」「利用者実数による利用率」など客観的な指標とする検討をいただきたい。		
妥当性	【評価理由】 利用者が増加していることから市民ニーズが高く、効果が大きいと評価する。	第三者評価委員会	5段階評価
			4
有効性	【評価理由】 市民ニーズに応えるために、サービス向上のための改善、工夫を常に行うべきである。 就学前児童とその親の外出の場として有効に機能していると評価する。	第三者評価委員会	5段階評価
			4
効率性	【評価理由】 受益者負担の可能性についても検討すべきである。	第三者評価委員会	5段階評価
			3
今後	【評価理由】 子育て学習センターにおける指導者の後継者育成が必要である。 利用者の増加によりサービスの低下がないよう、専門家の増員等の工夫を期待する。		
その他	親子の絆が希薄になっている昨今であるが、この事業は大変良い試みである。		

事務事業評価シート

事務事業名	まちの駅推進事業		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止		
評価指標	【評価理由】 加盟店の数により有効性を測るよりも、まちの駅利用者数や利用者満足度で測る必要がある。		
妥当性	【評価理由】 この事業が市民のためか、観光活性化のためかといった主目的や目標の明確化が必要である。 おもてなしの心が大切と認識されており、考え方はよいと思えるので、可能性は広がっていくといえる。 まちの駅のPR不足であり、市民や観光客に対して周知されていない。	第三者評価委員会	5段階評価
			3
有効性	【評価理由】 まちの駅加盟店舗数が多くても少なくてもよい気がする。 協議会を開くなど、駅間の連携をとることが成功するために重要である。 地域住民とのふれあいやコミュニケーションを大切にした駅の雰囲気により、観光客の受け入れ体制をとれば有効に働くのではないか。 おもてなしの心が浸透すれば、効果がでてくるのではないか。	第三者評価委員会	5段階評価
			3
効率性	【評価理由】 改革・改善等の方法によっては、可能性のある分野と言える。 店主導にすべきである。	第三者評価委員会	5段階評価
			3
今後	【評価理由】 改善の方向によっては、大きな可能性が期待できるものといえる。 本格的に効果をあげるために、駅長などが成功している先進市への視察に行くべきである。 周知が不十分なので、広報あいおいをはじめとしてPRが必要である。		
その他	(Blank space for additional comments)		

事務事業評価シート

事務事業名	中学生ペーロン大会推進事業		
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止		
評価指標	【評価理由】 体験した中学生に対して、アンケートをとり、その結果を指標にする検討をいただきたい。		
妥当性	【評価理由】 相生市にとってペーロンの意義は大きいので、市民に文化を広く伝え効果を生み出すべきである。 目的である伝統文化の継承、一致団結することを学ぶということは、人を育てるという面で教育的効果がもたらされているといえる。	第三者評価委員会	5段階評価
			4
有効性	【評価理由】 例えば中学2年生も含めて、たくさんのペーロン体験が可能になればよいといえる。 効果を大きくすることができるためのシステムづくりを進めていく必要がある。	第三者評価委員会	5段階評価
			3
効率性	【評価理由】 コストをより低くする方策を検討すべきである。 受益者負担の可能性についても検討すべきである。	第三者評価委員会	5段階評価
			3
今後	【評価理由】 中学2年生でも実施するなど、多くの子どもがペーロン体験が可能になることを期待する。 子どもたちに文化を伝え、相生市にとってのペーロンの重要性が理解することができるよう工夫すべきである。 相生市最大のまつりであるペーロン祭の週に実施できないか、開催日について教育委員会の協力を得ていただきたい。		
その他			

事務事業評価シート

事務事業名	小学校外国人英語指導助手招致事業		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止		
評価指標	【評価理由】 指標設定においては、有効性及び効率性が測れるものとする工夫が必要である。 アンケートを実施することにより児童や教師の意見を数値化できるのではないか。		
妥当性	【評価理由】 英語に慣れることが目的なのか、語学力(発音)を伸ばすことが目的なのか明確にする必要がある。 小学生から英語に慣れることが目的であるならば、市民ニーズも高く必要な事業であり、妥当であると評価する。	第三者評価委員会	5段階評価
		4	
有効性	【評価理由】 効果を大きくするためには、ポイントを正確に把握すべきである。 発音力の向上か、国際感覚の基礎を培うことかといった目的を明確にすることで、効果もはっきりわかるはずである。	第三者評価委員会	5段階評価
		3	
効率性	【評価理由】 委託業者の選定基準を明確にすることで、コストを下げる可能性もあるはずである。 効率性の指標についても、より適切な指標の設定が必要である。	第三者評価委員会	5段階評価
		3	
今後	【評価理由】 小学校教師との連携により、大きな効果をもたらせる可能性があるので期待する。 ニーズ把握を十分に行い、委託内容について担当課から要望を説明し、十分に話し合っ て学習計画の作成を行うべきである。 事業拡大による小学校1年生からの英語授業導入については、賛成であり期待する。		
その他	国語力及び日本文化の習得についても並行して進めていただきたい。		

事務事業評価シート

事務事業名	中学校外国人英語指導助手招致事業		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止		
評価指標	【評価理由】 指標設定においては、有効性及び効率性が測れるものとする工夫が必要であり、「英語検定受験者数」など客観的な指標とする検討をいただきたい。		
妥当性	【評価理由】 教育の内容によって、効果の大小が決まると言える。 市民ニーズが高く、生きた英語を学べる事業としては妥当であると評価する。	第三者評価委員会	5段階評価
			4
有効性	【評価理由】 英語力というのが漠然としているので、英語の発音力など、どの能力をどの程度伸ばすためのものなのかを明確にする必要がある。 ネイティブスピーカーと接触すること自体には、重要な意義がある。	第三者評価委員会	5段階評価
			4
効率性	【評価理由】 よりコストを低くする方策を検討すべきである。 効率性の指標についても、より適切な指標の設定が必要である。	第三者評価委員会	5段階評価
			4
今後	【評価理由】 全ての生徒の英語のレベルアップを期待する。 中学校の英語教師と外国人英語指導とのコミュニケーションを多く持つことにより、相乗効果が期待できる。 この事業によって身につけることができる、英語の力(発音など)を明確にすべきである。		
その他	これからの時代、日本は産業空洞化になり、若い人がどんどん海外に出て活躍が期待されるので、小中学校の英語は、重要である。 授業を受けることによって、どのように変わったかという声をまとめることも必要である。		

事務事業評価シート

事務事業名	青少年育成事業		
評価結果	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止		
評価指標	【評価理由】 多くの人が参加できるような仕組みをつくり、目標を高く設定すべきである。		
妥当性	【評価理由】 学校教育にプラスして、どのようなことに期待しているのか明確にするべきである。そのなかから市が行う必要性について検討すべきである。 民間の役割が大きい事業であるといえる。 チャレンジウォークについては、子どもたちに相生のまちを知ってもらい、愛着をもってもらう企画としては、妥当である。	第三者評価委員会	5段階評価 4
有効性	【評価理由】 この事業によってどのような効果が得られているのか、コミュニケーション力がアップしているといえるのかなどを把握することが重要である。	第三者評価委員会	5段階評価 3
効率性	【評価理由】 対象人数における参加人数が少ないので、受益者負担の増加など検討すべき点がある。	第三者評価委員会	5段階評価 3
今後	【評価理由】 市民ニーズが本当に高いのかをよく検証すべきである。 イングリッシュキャンプについては、定員数及び回数について市民ニーズにあうように検討を期待する。 チャレンジウォークについては、日程及び期間を考慮するなどの検討を期待する。		
その他	事業対象者だけでなく、広く市民に周知できるようなPRが必要である。		